

## 第 5 回学校教育小委員会におけるエアコンに関する意見の整理

■まずやれるところからということで、特別教室に冷房を入れて環境改善を、ということだが、マスコミ報道等を聞いていると国のほうでも何か考えなければならないという話もあって、それをうまく活かせれば早急に取り組みたいという市の話もあると聞いている。

■エアコンの導入については、喫緊の課題であると実感している。どの時期に、どの規模で整備していくのか、なるべく早い段階でぜひご提示頂ければと思っている。気になるのは、今日の次の議案にも関わってくると思うが、全ての市内小中学校の普通教室にエアコンを導入した後に小中の統廃合をすると、余計な設備投資になるのではないかと。耐震工事も全て終わっている中で、統廃合を進めているのは、決定においては少し問題があったのではないかと感じている中で、今回もそこは十分に共有頂いた方が良いのではないかと思う。まず、小学校中学校であれば、クラス数の違いや進学のこと踏まえて、たとえば中学校から導入をする、そのあとで小学校を導入していくといった考え方もあるのではないかと思う。新聞報道で、予算的にすべて小中の普通教室に導入した場合、16 億円程度かかるといった試算があったが、どのような積算でそこまでの金額となるのか不思議に思っている。エアコン一基あたりの導入にあたり、前例等を含め、まだまだ予算的に削減することもできるのではないかと。

■8 月に入ってすぐエアコンの緊急導入の発表があり、私も PTA の方々もすぐに対応していただいてホッとしたところである。資料 1 にある 7 月の平均室温については、どのように計測しているのか。また、緊急導入予定の学校については、PTA 内で情報共有して良いのか。また、現状ではエアコンが設置されているコンピュータ室や図書室に児童生徒が移動して授業を受けるということになっているか、そうでなくて、休憩のみに使っているのか。各学校の既存のクーラー設置数と新設のクーラー数を教えていただきたい。現状の運用を PTA で伝えたい。これは意見だが、9 月上旬も 30 度を超えるような気温になった場合、中学校は制服登下校だが、体操服やポロシャツなど涼しい服装や、スポーツ飲料水や首に巻く涼しい商品の使用など、自己防衛のため暑さ対策をして授業を受ける運用は提案したい。

■海の日以降は 32 度を遥かに超えていた。よく子ども達は頑張っていたと思う。教室に 40 人の生徒が入るとなると、更に室温は上がる。多目的ホール等にエアコンがあるので、休み時間にそこへ入り、体温を下げるよう指導している。また、50 分の授業を 45 分にして、休み時間を 10 分から 15 分にして、体を冷やす時間を増やした。授業中もできるだけエアコンのある部屋を活用していた。放課後も部活動はそういった部屋をフルに活用していた。保護者会も全てエアコンのある部屋を活用した。理科の実験や体

育の時間でも定期的に水分補給する時間を設けている。体操服の件については、伝統的に授業は制服で受けていたが、体操服で受けることも可能ということで実施した。しかし、子どもにとって抵抗があるのか着替えのない生徒も多かったように思う。また、外の部活動についても気温をみて中止にしていた。飲料水については持ってきても良いのは原則お茶ということになっている。水筒内部に傷がついていた場合、スポーツ飲料が酸性のため、金属中毒を起こす可能性もあるという話を聞いている。また、あまりにも糖分が高いため、健康状態に悪影響を及ぼす可能性もある。過激な運動をやっている場合はスポーツ飲料も有り得るが、授業中はお茶が一番良いのではないかとということで、強制はしていないが指導している。私たちの学校では夏休み期間中に保護者会を実施するなど、行事を削減して、1学期で3日分の授業時間を確保した。逆に、こういった対応により、夏休みを3日間早める方法もあるのではないか。何とか、子ども達に苦勞をかけないように授業時間を確保したが、子ども達や保護者がどう考え評価したか、まだ声を聞いていないため分からない。ただ、今後もこういった対応をしていきたい。

■上の階に行くにしたがって約1度ずつ暑くなっていく。学校に扇風機があっても、ぬるい風をまわしていても何の効果もないと聞いている。1日1時間はエアコンの効いた部屋で授業するようにローテーションを組んだりした。休み時間も利用している。各階でエアコンの設置された特別教室があることはとても意味があることだと思う。防犯予防教室はエアコンのある部屋で、5・6年生については直接講師の方の説明を聞き、他の児童は放送やテレビ等を用いて実施した。